

ふるさと愛いっぱいの人材(人財)が育つ町づくり

先日のお祭りには、たくさんの児童が参加しました。約1か月の練習を経て、祭りに臨んだ子供たち。当日は、自信にあふれ、晴れやかな顔で祭りを楽しんでいました。子供たちにとって、故郷を愛し、伝統行事を受け継いできた地域の方々の思いに触れた一日だったと思います。

伊方町では「ふるさと愛いっぱいの人材(人財)が育つまちづくり」を教育目標に掲げています。九町小学校でも、次世代を担う子供たちのために、地域の方々が協力してくださっています。

毎月、第2火曜日の昼休みには、地域ボランティアの方々が、絵本や紙芝居など、子供たちが興味を持ちそうな本を準備して読み聞かせをしてくださっています。子供たちも、読み聞かせの時間を楽しみにしています。高学年になっても、お話を聞くのは大好きなのです。若者の読書離れが課題となっていますが、九町小では、読み聞かせの方々が、本を通して想像の世界を広げる一翼を担ってくださっています。

先日は、3,4年生の社会科の時間に、保護者の方にミカン栽培について教えていただきました。実際に使っている剪定ハサミや背負子を見せていただいたことで、子供たちの関心が高まったようです。この食農教育は、後編に続くそうです。きっと子供たちにとって忘れられない授業となることでしょう。



このように地域の方々に支えられながら子供たちは、充実した学校生活を送っています。

皆様の御協力に心より感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。